

## 林 務 課

平成 27 年 5 月 31 日現在における平成 26 年度の予算及び事務事業の執行状況について、定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

### 1 職員の配置状況

当課の職員は課長 1 人、管理登記係 2 人、林政係 3 人、鳥獣対策係 2 人の計 8 人である。

このほかに、管理登記係に用地調査員として嘱託職員 3 人、林政係と鳥獣対策係にそれぞれ臨時職員 1 人が配置されている。

### 2 予算の執行状況

当課に係る歳入は、予算現額 1 億 1,115 万 4,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 4,989 万 3,799 円で、収入率は対予算 44.9%、対調定 100.0%となっている。

収入済額の内訳は、使用料及び手数料 39 万 40 円（捨石堆積場などの行政財産目的外使用料、林道道路占有料、鳥獣飼養許可証交付手数料）、県支出金 2,981 万 5,100 円（森林環境税関係事業補助金、鹿児島県森林整備地域活動支援交付金事業補助金、森林整備・林業木材産業活性化推進事業補助金、里山林機能回復事業補助金、鳥獣被害対策実践事業補助金、森林管理道開設事業補助金、森林管理道舗装事業補助金）、財産収入 448 万 699 円（市有林支障木売上代金ほか）、諸収入 830 万 7,960 円（鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業収入、分収造林事業受託収入ほか）、市債 690 万円（林業債）である。

一方歳出は、職員の給与費を除く予算現額 1 億 8,790 万円に対し、執行済額は、1 億 1,274 万 8,186 円で、執行率は 60.1%である。

執行済額の主なものは、次のとおりである。

#### (1)財産管理費

執行済額は 1,344 万 644 円で、用地調査員報酬 529 万 2,000 円、地積測量図作成作業員の賃金 28 万円、用地調査員費用弁償 16 万 4,070 円、需用費 13 万 6,024 円（消耗品費）、用地測量業務委託の委託料 754 万 7,040 円などが主なものである。

#### (2)市有林管理費

執行済額は 1,331 万 2,546 円で、毎木調査の作業員賃金 30 万 4,500 円、森林国営保険料の役務費 682 万 1,629 円、委託料 213 万 8,400 円（市有林管理業務委託）、負担金補助及び交付金 399 万 8,500 円（市有林人工造林及び鳥獣被害防止柵設置事業負担金ほか）などである。

#### (3)公団造林管理費

執行済額は 311 万 8,000 円で、分収造林事業業務委託料 307 万 8,000 円などである。

(4) 農業振興費

執行済額は 135 万 8,000 円で、鳥獣害防止施設整備事業補助金である。

(5) 林業総務費

執行済額は 1,828 万 1,678 円で、報償費 1,529 万 2,550 円（有害鳥獣対策協議会出費及び有害鳥獣捕獲報償費、有害鳥獣緊急捕獲報償費、有害鳥獣捕獲出動手当ほか）、負担金補助及び交付金 290 万 6,211 円（鳥獣処理施設運営補助金、鳥獣被害対策実践事業補助金、始良・伊佐地域森林・林業活性化センター負担金、伊佐農林高等学校農林技術科森林教育支援対策協議会補助金ほか）などである。

(6) 林業振興費

執行済額は 2,492 万 5,717 円で、森林づくり推進員の賃金 58 万 8,000 円、需用費 59 万 378 円（消耗品費）、委託料 160 万 8,336 円（森林情報システム保守委託、森林環境税関係事業（里山林機能回復事業）業務委託、県費単独治山事業測量設計業務委託、森林土木積算システム保守業務委託）、使用料及び賃借料 63 万 5,040 円（森林土木積算システム一式賃借料）、備品購入費 75 万 3,840 円（大判プリンタ購入費）、負担金補助及び交付金 2,075 万 123 円（森林整備・林業木材産業活性化推進事業補助金、森林整備地域活動支援交付金、市単独森林整備補助金）である。

(7) 林道費

執行済額は 3,627 万 8,827 円で、林道補修の作業員賃金 196 万 3,500 円、役務費 272 万 9,046 円（倒木伐採・除去作業手数料、林道補修作業手数料、支障木伐採・立木処理手数料ほか）、委託料 329 万 4,000 円（山ノ神線森林管理道開設事業全体計画調査業務委託）、工事請負費 2,443 万 6,000 円（林道十曾線舗装工事、西ノ山線森林管理道舗装工事）、林道補修に伴う原材料費 358 万 4,817 円、負担金補助及び交付金 22 万 4,420 円（林道台帳管理負担金、林道安全協会費、県治山林道協会負担金）などである。

(8) 農林施設災害復旧費

執行済額は 203 万 2,774 円で、災害復旧作業員賃金 30 万 8,000 円、工事請負費 151 万 2,000 円（栄ノ口支線の林道災害復旧工事）、道路補修等に伴う原材料費 16 万 3,134 円などである。

\* 繰越明許費

繰越明許費の歳入は、予算現額 4,155 万 8,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 4,198 万 3,000 円で、収入率は対予算、対調定ともに 101.0%となっている。

収入済額の内訳は、県補助金の農林水産業費県補助金 4,198 万 3,000 円である。

一方歳出は、予算現額 4,205 万 3,000 円に対し、執行済額は 4,198 万 3,000 円で執行率 99.9%である。

執行済額の内訳は、林業振興費の執行済額 4,198 万 3,000 円で、森林整備・

林業木材産業活性化推進事業の工事請負費 3,319 万 1,000 円、負担金補助及び交付金 879 万 2,000 円である。

### 3 事務事業の執行状況

当年度執行された主な事務事業は、次のとおりである。

事務事業名	執行済額 (円)	事務事業の内容及びその効果
不動産登記事業	13,440,644	市内の市道、農道、林道敷において分筆がなされていない路線について丈量図を作成し、地権者との交渉を行い、寄付採納等により登記事務を行う。 市道 63 筆、林道 51 筆、公有財産 23 筆などの未登記分の解消が図られた。
市有林管理事務事業	13,312,546	直営市有林の適切な維持管理を行うための事業である。市有林管理に精通した林業事業体に管理業務を委託し、山林火災等の補償のために森林国営保険に加入する。 市有林の適正な管理と公益的・多面的機能の維持増大が図られた。
水源林整備事業	3,078,000	市有林を森林総合研究所と分収契約し受託事業により経営を行う。 水源かん養の公益的機能の発揮が図られた。
鳥獣害防止施設整備事業	1,358,000	イノシシやシカによる農林産物への被害を防止し農業経営の安定化と農業者の自衛意識向上を推進するため、圃場に侵入防止柵を設置し整備を行う。 田畑の作物被害を防止することができた。
有害鳥獣捕獲事業	15,375,467	農林産物への被害対策として、関係機関、各地区猟友会長及び鳥獣保護員で組織する「伊佐市有害鳥獣対策協議会」の運営を行い、適正な捕獲を推進し、予察指示により伊佐市全域にわたり捕獲事業を行う。 シカ、イノシシは前年度の捕獲頭数を大きく上回り、被害防止の効果があつた。
鳥獣被害総合対策事業	2,020,211	有害鳥獣による被害の深刻化、広域化に対応し、捕獲、被害防除体制の確立や捕獲者・農林家の意識改革、捕獲後の獣肉の利活用など総合的な鳥獣対策を行う。 東市山地区で電気柵の設置を行い、鳥獣による田畑への被害防止の効果があつた。
森林整備・林業木材産業活性化推進事業	13,500,000	森林資源を核とした地域産業の再生や創造に向け、森林整備の推進及び木材産業の活性化等を図るために造成した基金を活用し、間伐、林内路網、里山及び高性能機械の整備を実施する。 低コストで安定的に供給できる体制を構築し、競争力の強化が図られた。

森林整備地域活動支援交付金事業	4,514,000	集約化による計画的な森林整備による林業の再生と、それを通じた森林の多目的機能を持続的に発揮させるため、集約化施業の取組に必要な活動を支援する。 森林経営計画作成の推進や施業集約化の促進が図れた。
森林づくり推進員活動事業	588,000	森林の荒廃を防ぎ整備を行うため、森林の調査等を行う。管理不十分な森林に対し除間伐の実施を推進する。 管理不十分な森林の除間伐等の森林整備が図られた。
林業振興事業	3,114,148	森林施業の効率化のため、森林経営計画の作成を促進し、施業の集約化を図り、路網の改良活動を計画的に行うため、森林所有者届出制度の確実な執行を行う。 森林情報システムの活用により、森林経営計画の促進、施業の集約化が図られるとともに、計画的な森林整備を推進することが出来た。
県費単独補助治山事業	2,749,969	自然災害により崩壊した林地で国庫補助事業の対象とならない小規模崩壊地の復旧工事を行う。 大口平出水字宮ノ前地区、菱刈川北字小原地区の測量設計業務委託を行い、工事については27年度に繰り越された。
林道費一般	36,235,407	市内林道台帳登載路線（46路線、総延長L=131,137m）の維持管理及び補修を行い、交通の安全確保と林業振興を図る。 林道の交通安全の確保と林業振興が図られた。
林道災害復旧事業	2,032,774	災害の生じた林道の復旧をする。 林道栄ノ口支線の災害復旧工事や林道野ミ田線外1路線の道路補修に伴う原材料費支給により、林道の交通安全の確保が図られた。

\* 繰越明許費

事務事業名	執行済額 (円)	事務事業の内容及びその効果
森林整備・林業木材産業活性化推進事業	41,983,000	森林資源を核とした地域産業の再生や創造に向け、森林整備の推進や林業産業の活性化等を図るために造成した基金を活用し、間伐、林内路網、里山及び高性能機械の整備を実施する。 林道専用道獅子間野線開設工事（1・2工区）や力強い木材産業づくり事業補助金の交付により、低コストで安定的な林業経営が図られた。

4 工事契約の執行状況

当年度における工事の執行状況は、次のとおりである。

補助 単独 の別	工 事 名	工事内容	契約金額 (円)	契約の 相手方	契約 の 方法	着 工 年月日	完 工 年月日
単 独	26 林工第 1 号 林道十曾線舗装 工事	A=1,828 m <sup>2</sup> L=440m	9,936,000	(株)大菱	指 名 競 争	H26.6.2	H26.8.20
補 助	26 林工第 2 号 森林管理道舗装 事業 西ノ山線舗装工 事	A=1,466 m <sup>2</sup> L=324.6m	14,364,000 (変更分) 136,000 (合計) 14,500,000	(株)富士 建設	指 名 競 争	H26.10.6	H26.12.19
単 独	26 林工第 3 号 林道災害復旧事 業 栄ノ口支線	A=321 m <sup>2</sup> L=71m	1,512,000	林 建 設 (株)	指 名 競 争	H26.10.6	H26.11.17

\* 繰越明許費

補助 単独 の別	工 事 名	工事内容	契約金額 (円)	契約の 相手方	契約 の 方法	着 工 年月日	完 工 年月日
補 助	25 林工第 9 号 林業専用道獅子 間野線開設工事 (1工区)	L=780m	25,620,000 (変更分) 732,000 (合計) 26,352,000	林 建 設 (株)	指 名 競 争	H26.3.10	H26.9.30
補 助	25 林工第 10 号 林業専用道獅子 間野線開設工事 (2工区)	L=700m	21,420,000 (変更分) 1,037,000 (合計) 22,457,000	(株)國玉 建設	指 名 競 争	H26.3.10	H26.9.30

5 委託契約の執行状況

当年度における主な委託の執行状況は、次のとおりである。

補助 単独 の別	業 務 名	契約金額 (円)	契 約 の 相 手 方	契 約 の 方 法	契 約 の 期 間
単 独	26 林委第 1 号 林道松ノ口線用地 測量業務委託	1,998,000	(株)狩行測量設計	指 名 競 争	H26.5.12 ～H 26.7.11
単 独	26 林委第 2 号 林道針持上場線用 地測量業務委託	2,430,000	(有)坂口測量設計	指 名 競 争	H26.5.12 ～H 26.7.11
単 独	26 林委第 3 号 林道田代線用地測 量業務委託	2,754,000	(有)貴島測量	指 名 競 争	H26.5.12 ～H 26.7.11

単独	26 林委第 4 号 平成 26 年度 市有林管理業務委 託	2,138,400	伊佐森林組合	指名 競争	H 26.5.15 ～H 27.2.28
補助	26 林委第 6 号 森林総合研究所 分収造林事業業務 委託	3,078,000	伊佐森林組合	指名 競争	H26.10.15 ～H 27.1.27
補助	26 林委第 5 号 森林管理道開設事 業全体計画調査業 務委託 山ノ神線	3,294,000	霧島エンジニア リング(株)	指名 競争	H26.7.14 ～H 26.9.22

## 6 補助金等の支出状況

各種団体に支出された主な負担金や補助金等は、次のとおりである。

団 体 名	事 業 名	負担金・補助 金等額 (円)	事 業 内 容 及 び そ の 効 果
(株)迫田興産	市有林管理事務 事業	3,980,000	栄ノ口市有林(人工造林)の管理業務 及び鳥獣害防止柵設置業務に係る負 担金
始良・伊佐地 域森林・林業 活性化センタ ー	森林保全活性化 団体負担金事業	503,000	地域内の低コスト林業の推進、素材 の安定供給、林業事業体の組織化、林 業労働力の安定確保、木材の加工・流 通体制の整備、木材の需要拡大、緑化 の推進、特用林産物の振興及び森林の 保全整備等を総合的に推進し、多様で 豊かな森林の整備と林業生産活動の 活性化を図るための負担金
一般社団法人 鹿児島県治山 林道協会	林道費一般	161,000	市内 46 路線の林道台帳管理システ ム負担金
大口青木地区 ほか 17 地区	鳥獣害防止施設 整備事業	1,358,000	イノシシやシカによる農林産物の 被害を防止するため、電気柵を設置し 整備する市単独事業の補助金
伊佐市有害鳥 獣対策協議会	鳥獣被害総合対 策事業	919,000	有害鳥獣の捕獲後の処理を速やか に行い、地域資源としての活用の促進 を図る伊佐市有害鳥獣処理施設への運 営補助金
伊佐市有害鳥 獣対策協議会	鳥獣被害総合対 策事業	1,101,211	野生鳥獣による被害の深刻化、広域 化に対応し、地域全体での被害防止活 動や侵入防止柵の整備等の鳥獣被害 防止対策を総合的に行うための補助 金

㈱迫田興産	森林整備・林業 木材産業活性化 推進事業	13,500,000	森林整備促進等基金を活用した高性能林業機械の導入により作業の効率化を進め、林業の安定的な経営と競争力の強化を図るための補助金
伊佐森林組合 ほか2事業体	林業振興事業	2,736,123	民有林の除間伐実施意欲促進と、間伐実施の集団化により林業の活性化を図るための補助金 伊佐森林組合 64.59ha 1,250,611円 迫田興産 5.65ha 185,927円 伊佐愛林 46.45ha 1,299,585円
鹿児島県森林 整備公社ほか 1事業体	森林整備地域活 動支援交付金事 業	4,514,000	森林所有者等による施業の実施に不可欠な地域活動を支援するための交付金 鹿児島県森林整備公社 施業集約の促進 30.00ha 900,000円 作業路網の改良 239.00ha 1,434,000円 伊佐森林組合 森林経営計画作成促進 30.00ha 380,000円 施業集約の促進 60.00ha 1,800,000円

\* 繰越明許費

団体名	事業名	負担金・補助 金等額 (円)	事業内容及びその効果
㈱菱刈木材工業	森林整備・林業 木材産業活性化 推進事業	8,792,000	森林整備促進等基金を活用した高性能林業機械の導入により作業の効率化を進め、林業の安定的な経営と競争力の強化を図るための補助金

7 財産の管理状況

(1) 市有林面積

単位:ha

区分	直営	官行	県行	公団	公社	国有林 分収林	学校・集 落分収 林ほか	計
面積	1,208.35	58.68	105.83	227.40	7.00	501.27	64.90	2,173.43

当課所管の土地は、おおむね良好に管理されていることを認めた。

8 現地監査について

林道十曾線舗装工事、林道災害復旧事業栄ノ口支線について現地監査を実施したが、いずれも良好に施工、管理されていることを認めた。

9 その他

当課が整備保管すべき財務に関する諸帳簿類は、おおむね良好に整備されていることを認めた。